

「介護」や「障害福祉」のサービスを支える人材確保 に関するアンケート調査結果について

1 調査の目的

「介護」や「障害福祉」のサービスを担う職員が不足している中、介護職員を確保するため市民のみなさまの意識や意見、ニーズを把握し、効果的な人材確保対策事業につなげていくことを目的として実施しました。

2 調査期間・調査方法

令和7年3月13日から4月30日まで
電子申請により回答

3 周知方法

令和7年4月1日号「広報おおつ」への掲載
「大津市公式LINE」への掲載（4月17日）

4 回答状況

656人

5 回答者の属性

① 性別及び年齢

	男性	女性	その他	計
20 歳代	2	10	2	14
30 歳代	29	33	2	64
40 歳代	47	81	2	130
50 歳代	49	161	2	212
60 歳代以上	84	151	1	236
計	211	436	9	656

② 現在の職業

学生	会社員	会社 役員	公務員	自営業 ／個人 事業主	専業 主婦／ 主夫	アルバイト ／パート	無職	その他
1	221	32	36	31	68	144	77	46

③ 介護職としての従事経験の有無

現在従事している	過去に従事していた	経験がない
223	75	358
34.0%	11.4%	54.6%

6 回答内容

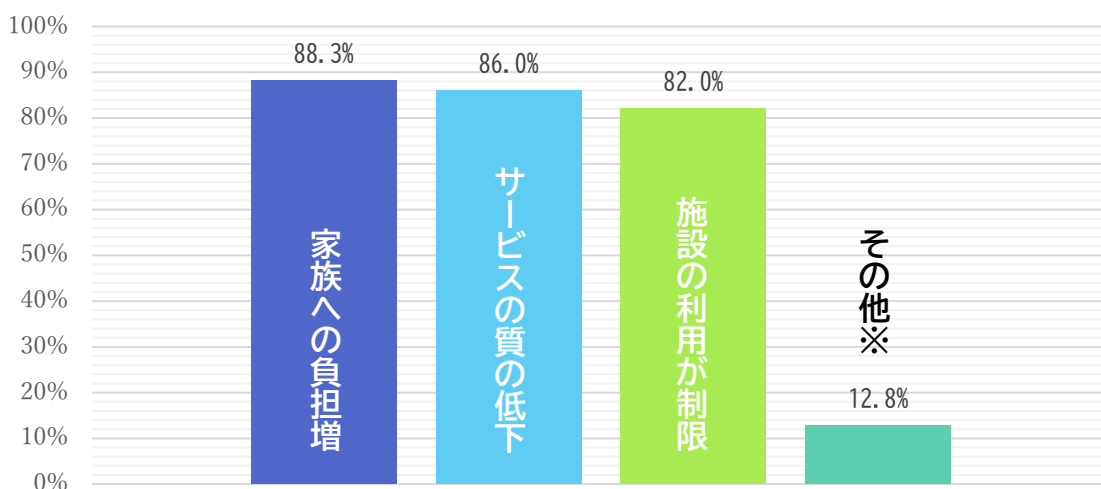
① 全国で介護職員が不足していることへの認識度

85%以上の回答者が「知っていた」、「何となく聞いたことがある」を含めると、99%以上が認識していました。

知っていた	何となく聞いたことがある	知らない
560	92	4
85.4%	14.0%	0.6%

② 介護や障害福祉に関わる人材不足が深刻化することでの地域社会への影響（複数回答）

回答者の8割以上が「家族への負担が増加」「介護サービス、障害福祉サービスの質が低下」「介護・障害福祉施設の利用が制限」を選択された。

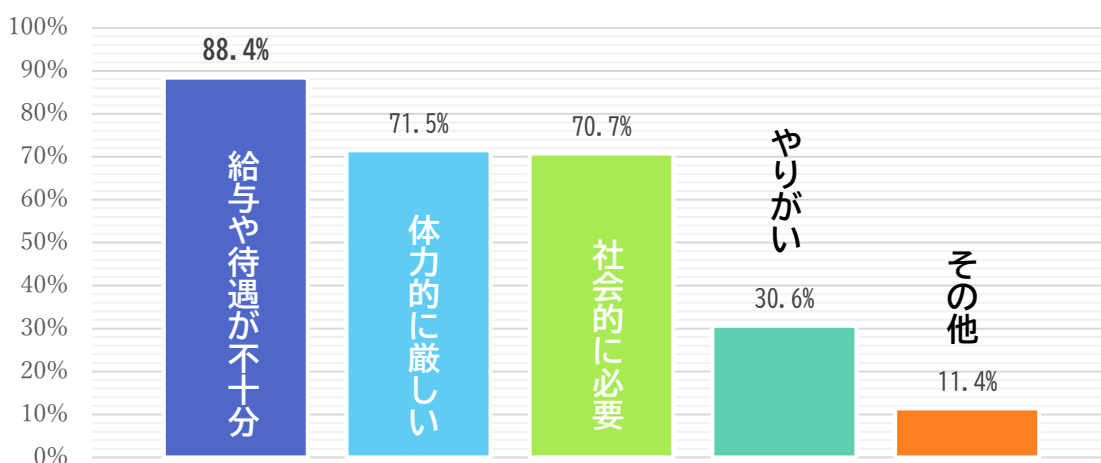


※「その他」の記載内容

- ・誰もが活躍できる社会ではなくなる
- ・福祉サービスが厚い地域への人口流出
- ・介護離職が増え、介護サービス以外の業種でも担い手不足が起きる
- ・虐待につながりかねない 等

③ 介護職へのイメージ（複数回答）

回答者の9割近くが「給与や待遇が十分でない」と考えており、7割余りが「体力的に厳しい」、「社会的に必要な」と考えています。

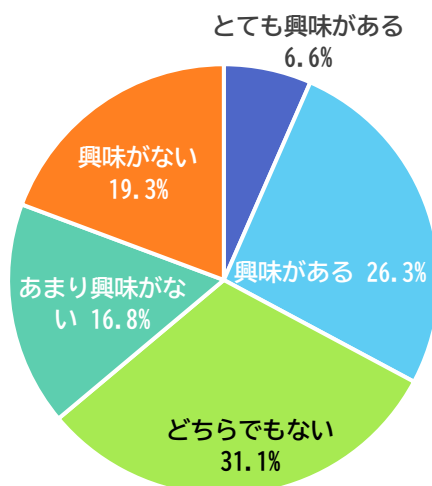


※「その他」の記載内容

- ・ やれば素晴らしい仕事だと分かるが、知らない人には伝わらない
- ・ 知らない人は「誰でもできる仕事」と安易に思うかも
- ・ 身体的、心理的にも負担の大きい仕事 等

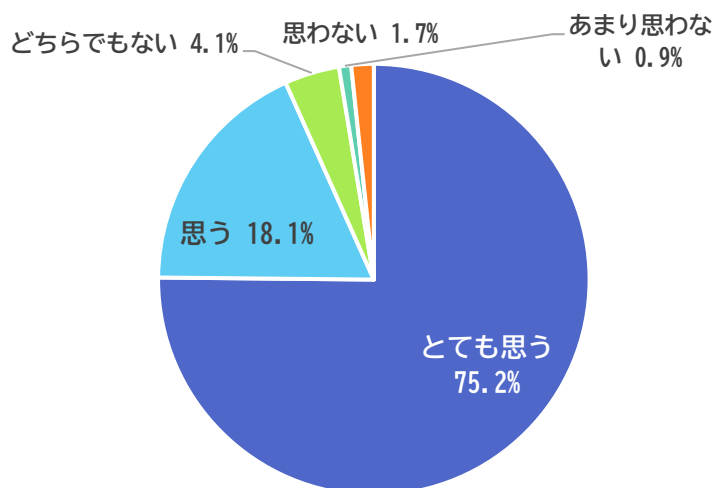
④ 介護職員としての働くことへの興味

「とても興味がある」と「興味がある」で 32.9%、「あまり興味がない」と「興味がない」で 35.6%、「どちらでもない」は 31.1%と、ほぼ拮抗していました。

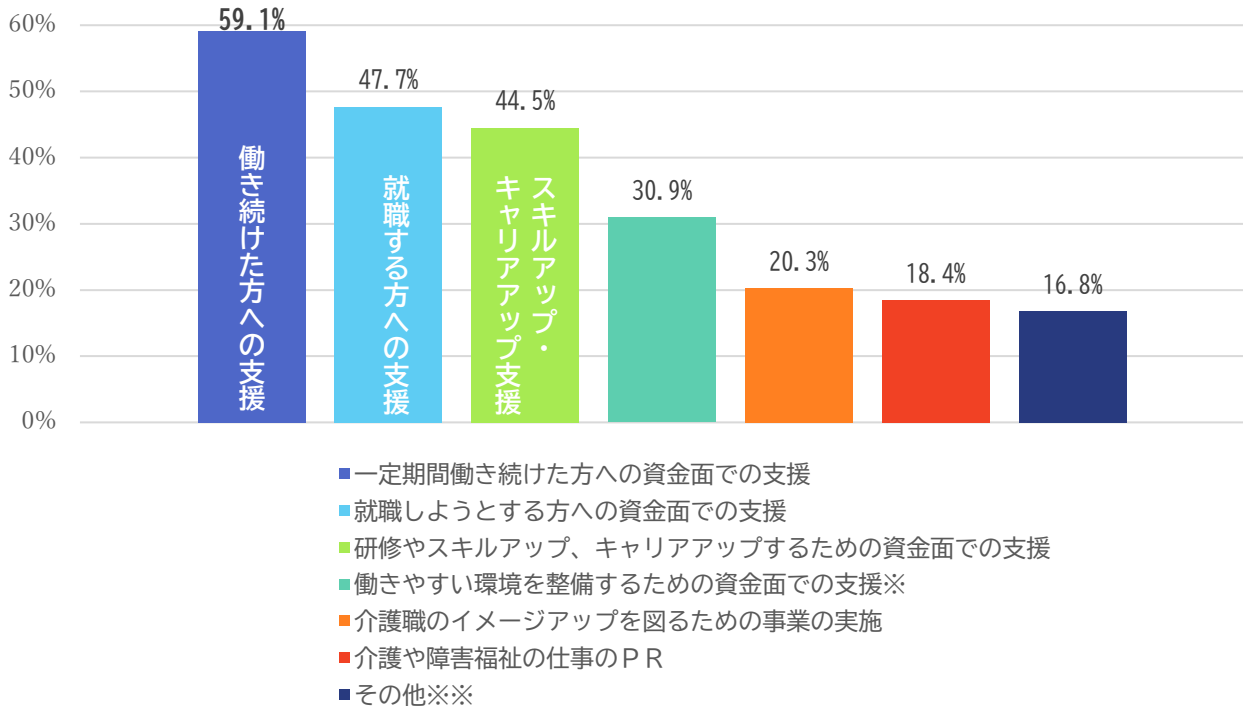


⑤ 大津市（行政）が人材確保の取組を進める必要性

「とても思う」、「思う」を合わせ9割強の回答者が「必要性がある」と思っていました。



- ⑥ 介護職の方を増やすために、大津市（行政）に求められる制度や支援策（3つまで）
 約 60%の方が「一定期間働き続けた方への資金面での支援」を、また、約 45%の方が「就職しようとする方への資金面での支援」や「研修やスキルアップ、キャリアアップするための資金面での支援」と回答されました。



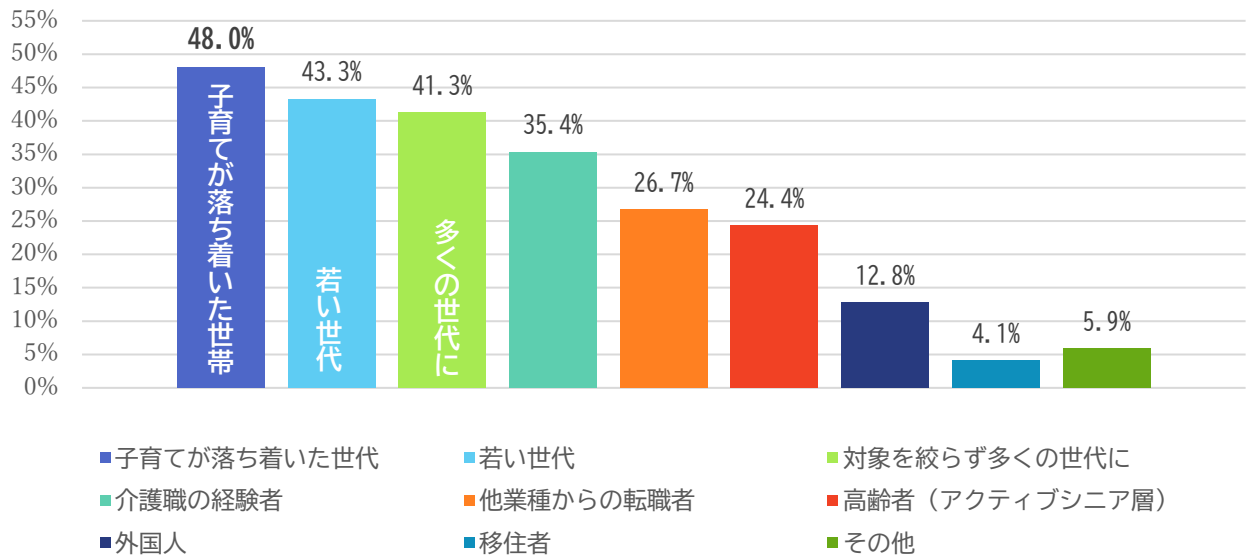
※「働きやすい環境を整備するための資金面の整備」への具体的なアイデア

- ・介護休暇や生理休暇等の休暇で有給にしているところは、人手や財政的な厳しさがあるものの働きやすい環境づくりに努力している。それを評価する仕組みや財政的な支援
- ・力仕事をサポートする道具、衛生面で問題が生じない器具や人的対応等、介護する人もされる人双方が負担を感じない対策
- ・処遇改善加算が算定できない職への補助金や、有償ボランティアへの支援拡充等

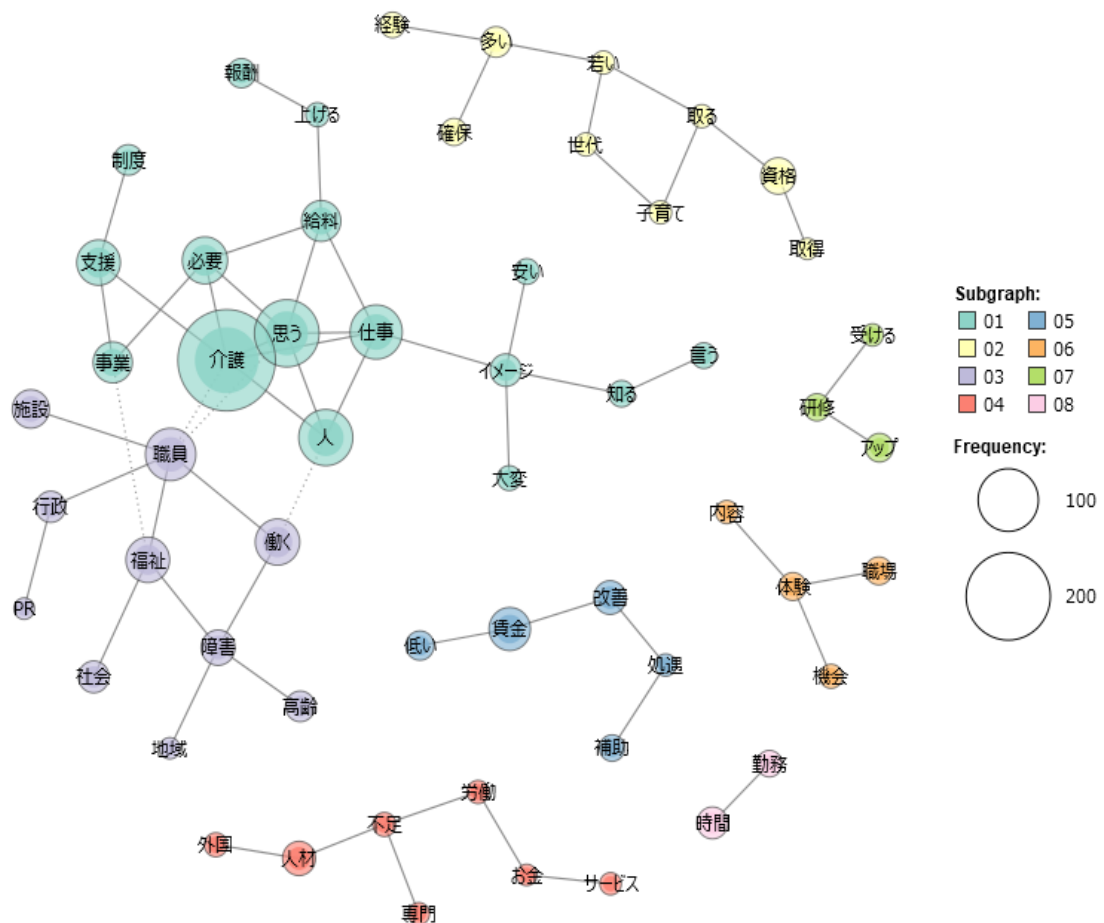
※※「その他」の記載内容

- ・処遇改善のみではなく、労働力の受け入れ先である事業所が安定して存続するための施策支援が必要。
- ・何よりも給料アップ
- ・外国人人材の定着、地域としての受け入れ
- ・興味を持っている人が話を聞けたり、相談できる所を作る
- ・働く人を事故裁判や暴力暴言、ハラスメント、クレームから守る制度 等

- ⑦ 介護職員として就職してもらうために大津市（行政）が支援する対象（3つまで）
 半数近くの方が「子育てが落ち着いた世代」を、約4割の方が「若い世代」と「対象を絞らず多くの世代に」と回答しています。



- ⑧ 大津市（行政）が実施すべき介護職員の確保のためのアイデア（自由記載）
 多数のご意見・アイデアがありました。共起ネットワーク図は次のとおりです。



KH Coder により作成

■介護・介護職のイメージを変えていく

- ・重要性は誰もが認識していると思います。その啓発よりも、省力化の最新設備、技術を導入できるよう資金面で支援し、3Kのイメージを変える必要があると思います。
- ・しんどい仕事の割に給料は少ない、大変、汚い等のイメージや現実を払拭出来ればなり手も増えると思う。あと、介護保険を使う側の意識改革も継続して必要。社会性、公共性のある保険利用のサービスだと言う意識が利用者側にもないと成り立っていかない制度だと思う。その周知をケアマネージャーに一任している現実があり、多忙を極める職業にしわ寄せしているところも福祉職の大変さだけが伝わってしまい、益々なり手がいない状況を作っていると思う。
- ・給料が低いイメージがある。社会的に大切な仕事をアピールして、行政からも手当をする。
- ・介護職は大変というイメージがありますが、（実際私も周囲から「大変な仕事やなー」と言われることが多いです）利用者さんに癒されることもたくさんありますし、お世話するということよりも、利用者さんと関わるなかで人として成長させてもらっていると感じることが多いです。アイデアはないのですが、介護職は大変だけではなく世間の方が思っている以上に笑顔溢れている楽しい仕事だと知ってもらうことができればいいなと思います。
- ・介護職のイメージアップのために、学生対象の現職の方の講演会の開催、派遣料や紹介料無料の派遣業務
- ・介護内容を分かりやすく紹介する。介護は大変のイメージが強い。
- ・介護の仕事の業務は色々あるが業務を分解してわかりやすい名前にして仕事をわかりやすくするべき。大変な部分だけ介護のイメージがあるが、誰でもできる簡単な業務もあることをアピールすべき。
- ・転入者の就労先の選択として、介護の仕事を通して地域を知るというイメージが持てると転入者の孤立も防ぎ、地域の中で一緒に支え合っていけるというイメージが持てるのではと思います。
- ・年代別の給与水準の公開。事業所の協力が必要だが見学会を開催して日常の仕事を知る機会が必要だと強く思う。福祉の現場に関わった経験のない方にとっては未知の世界でしかない。またイメージが悪い職種でもあり、知ってもらう機会が必要だと強く感じます。
- ・楽しくやりがいのある仕事であれば、集団面接会場などでそれをアピール。お給料も他と比べて低くなければそれをアピール。それができなければまずは企業側の待遇を上げる施策からスタートしないとイメージ回復は無理かと。
- ・介護職と言うだけで、大変やねと言われるのがつらい。何も知らない関わりのない人たちへの介護の仕事のイメージを変えてもらう取り組み。
- ・わざわざ「介護職」「福祉」と声高に言うから敷居だけが高くなる。福祉は日常。特に障害福祉は、責任は重く賃金は安いことに加え、知らない事からくる「怖そう」「突然叩かれそう」と言った漠然としたネガティブイメージが根底にあると思う。例えば小学生の頃から地域の障害福祉事業所に見学に行くことで「3K4K」といったネガティブイメージが出来上がらないような長期的な仕掛けが必要

■若い方から地域住民まで職場体験を

- ・障害福祉分野で働いていますが、やはり世間一般的なイメージは良くないのだろーと思います。しかし、いざ体験してみたら非常に有意義で楽しい職場だとイメージが変わる方も多いのではと考えます。高校生に職場体験・職業体験として高齢福祉や障害福祉の事業所へ体験・遊びに来てほしいです。今も職業体験の授業はあると思いますが、それ

とは別に、学生全員が福祉の分野を一度は体験してほしいと思います。イベントとかイメージとかではなく実際に自分で体験することが肝要と思います。

- ・地域住民に向けた介護体験教室(身体介護以外の介護内容等について体験・紹介)、高齢者・障害者との交流の機会を創設
- ・介護職未経験者が気軽に職場体験できるような制度があればと思います。既にあるのかもしれませんが PR がまだまだ足りないと思います。
- ・1週間以上の職場体験(できれば1ヶ月)
- ・市内すべての中学生や高校生、大学生に PR や仕事体験などの機会を持てると良いのではないと思う。
- ・資格を持って就職しても実践が伴わない(ブランクがある方も含む)方への教育支援。事業所と連携しての見学や体験制度。

■子育て世代が働きやすいように

- ・介護職と子育ての両立を可能にする。夜勤・残業制限、処遇改善、夜間保育など
- ・やはり給与が良い、子育てしながらも働ける様に休みが取りやすい職場作りが一番早いと思います。口コミは大事。
- ・幾つかの施設に実習後に就職先を決める。その期間の給料保証をする。
- ・1日1時間から2時間をとか隙間時間の仕事があると高齢者や子育て世帯、介護に興味のある方が働きやすい。一番忙しい時間に人を増やすことで、正規職員の方の負担軽減にもなる。
- ・身内も介護職をしています。人手不足で休日が少なく勤務時間も不規則な仕事の為、出産や育児の休暇も取りにくいので子育て世代の人材にその辺の配慮があれば、子育てしやすくなり働きやすい環境になるのではないのでしょうか。若い人材を大事にするのが今後の社会にすごく重要な事だと思う。
- ・若い介護者が安定して働ける様、子育て支援(発病時に休まなくて良いように対応してくれるなど)並行した取込が不可欠。

■待遇(賃金)向上を

- ・人手不足→休みが取りにくい→離職となるので、勤務交代や有給休暇の取得が無理なくできるよう短時間や週2日だけなどの労働条件に賃金助成してほしい。スペシャリストは必要だが浅く広く人材を集めなければ成り立たない。待遇が良ければ人材は集まるが、介護職は他業種よりも高待遇でないと集まらないと思う。この賃金で確保取組はできない。職員確保するより要介護者を増やさない施策をすべき。
- ・責任と労働に見合う賃金の保障
- ・賃金の低さが原因です。魅力ある賃金にしないと人は来ません。
- ・介護職の資格の確立、資格からの賃金システムを生かされて、介護職員の生活の安定を作る。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。